



問 二セコ観光協議会に対する国の事業補助は終了したと聞いているが、今後の活動は。

答 町が所有する第1、第2、第3駐車場の他にサン・スポーツランドの多目的広場に臨時駐車場を開設し、従業員の側の駐車場として活用している。

問 新駅周辺整備構想策定について、まちづくり検討委員会の提言を受けるが、今後の進め方は。

答 町民からの御意見をいただいたので、今後のスケジュールは、道路管理者や交通事業者等を含めた会議をもち、町としての構想をつくる業務を予定している。

問 俱知安保育所、みなみ保育所解体工事の予算が計上されているが、その後、跡地はどうするか。

答 俱知安保育所の跡地は駐車場・駐輪場として、みなみ保育所についてはまだ明確なものはないが、用地の用途について決めていきたい。

問 子どもの貧困対策事業の概要は。

答 小学生高学年・中学生・小学生及び中学生の保護者、各150通。合わせて600通のアンケートを送付し、実態を調査する。また、子ども子育て支援事業計画に

問 固定資産税について、実売価格が公示価格に近づけば課税額の増額が見込まれる。固定資産税が入る仕組みについて考えがあるか。

答 国は地方税法で、負担調整措置を行い、税が著しく上がらないよう調整をする目標を立てている。実売価格に近づけるよう目標を立てているが、緩やかに上げていくというのが今の仕組みになっている。法改正の中でも継続的に負担調整の措置を行っている。

問 特別職員報酬等審議会について、「町長の給与減額条例」に関しても諮問し審議されたのか。

答 特別職員等報酬審議会は、あくまでも本来的な特別職の給与体系にかかる審議をする機関と認識している。

問 農林水産業費

問 農業後継者担い手対策の補助金の計上はパートナー対策を含めて大事。

答 ほかに、後継者対策協議会（事務局は農業委員会）に補助し、今年も農業後継者及び担い手対策事業として、婚活の交流会、北海道ふれあい交流会の参加助成などを計画している。

問 森林計画業務で使われる森林統合クラウドシステムについて。

答 現在も森林クラウドは一般回線で使用しているが、速度やセキュリティ面に対応するための回線使用料。平成30年度中に林地台帳を作成し情報管理を行う。

問 放課後児童クラブについて、小6までの受け入れを対応するために空き教室の確保を。

答 プレハブを建てる、近隣の施設を借り受ける・買い取る、など小6まで受け入れられるよう場所確保の検討をしている。

問 浄化槽設置整備の事業補助金318万円は

問 衛生費

答 衛生費

問 多言語通訳サービス使用料とは。

答 電話回線を使い、英語・中国語・韓国語など6カ国語対応で対面的に通訳できるもの。外国人の転入者や質問者などに、ごみの分別はもちらん住民係の担当している事業にも使用する。

問 職員研修はどのよう

答 後志町村会の所定の研修、新規採用職員、2年目、5年目に該当する職員研修、それぞれ昇格した時点での研修など、専門の研修機関で実施している。

問 認識地域支援推進員の賃金が新規で計上されているが、その要件と配置先は。

答 地域包括支援セン

問 現在、地域連携DMOという組織の認定申請をしており、これまで協議会で取り組んできた3町による事業を今後も取り進めていく。

答 現在、地域連携DMOという組織の認定申請をしており、これまで協議会で取り組んできた3町による事業を今後も取り進めていく。

【特集1】平成30年度予算案 賛成多数で可決、新年度スタート 一般・特別会計合わせ98億8757万円 (前年度比、10億6218万円の減)

問 固定資産税について、実売価格が公示価格に近づけば課税額の増額が見込まれる。固定資産税が入る仕組みについて考えがあるか。

答 国は地方税法で、負担調整措置を行い、税が著しく上がらないよう調整をする目標を立てている。実売価格に近づけるよう目標を立てているが、緩やかに上げていくというのが今の仕組みになっている。法改正の中でも継続的に負担調整の措置を行っている。

歳入

歳出

総務費

第1回定例会では、平成30年度の一般会計、5事業特別会計、及び水道事業会計の予算案が賛成多数ですべて原案どおり可決しました。

4日間にわたる予算審査特別委員会の審議では、予算案に対し約130件に及ぶ質疑が行われ、議会最終日の採決にあたっては討論が行われませんでした。

一般会計	78億6800万円
特別会計	14億5196万円
国民健康保険	5億3706万円
後期高齢者医療	1億7685万円
介護保険サービス	479万円
公共下水道	7億2738万円
地方卸売市場	588万円
水道事業会計	5億6761万円
全会計計	98億8757万円

問 平成30年度から生活保護の基準が引き下がる

答 生活保護者については、水道料減免や一部負担金も切り下げられるが、町はどう臨むのか。

問 保育2号認定実費徴収負担補助金について、さまざまな議論があったが、平成29年4月現在で町立保育所に在籍している者のみへの補助か。

答 それぞれこども園の実費徴収負担分を補助するもの。恒久的ではなくて、時限的なものと考えている。

答 新幹線建設にかかる町分の負担金で、在来線の移設に係る設計業務、町内の地質と水門調査（井戸や湧水の調査）、移転対象者の建物・土地の調査、これらにかかる町の負担金。

教育費

問 小学校英語教育委託料が予算計上されているが、具体的な計画等があるか。

答 民間委託による人員配置。新制度で、文部科学省の学習指導要領に基づいて、教員資格者を想定している。

問 通学バスは、さまざまな条件下で運行されているが、大型バスから四駆マイクロバスに切りかえるべきでは。

答 委託先のバス会社で大型バスが基本となっており、それ以外の配車準備は別途経費となる。引き続き検討する。

問 クロカン練習がしやすいように旭ヶ丘に夜間照明の整備をすべきでは。

答 整備にはさまざまな経費が伴うが、今後検討・調整していきたい。

指導者について、先生方の勤務時間等難しい問題もあり、外部指導者についても検討・調整していきたい。

問 早期支援コーディネーターは、就学前教育における特別支援体制に係る役割であるか。

答 早期からの気づき、として5歳児健診の導入を関連部局と連携協力して進めるべきでは。

答 基本的には就学前福祉サイドと連携し進めていきたい。さらに町内の各関係団体との橋渡しもお願しいかと思っている。

消防費

問 住宅耐震改修計画のために、災害対策費ではなく土木費「住宅改修補助金」1080万円の予算計上となっているが、計画がスムーズに進められるのか。

答 3カ年において、耐

震が必要な1900棟の住宅に対し、改修の目標値を95%としている。助成金利用頻度、実績などを踏まえた予算付けとした。

歳出全般

問 旧東陵中の冬期間の体育館利用は暖房がなくなり。また、今後の利用は。

答 体育館の暖房設備は現在破損しており、使用できない中で利用していただいている。今後も、旧東陵中の利活用の本格的なあり方について議論を深めていきたい。

問 「ひらふ坂」ロードヒーティング電気代の予算計上は、政策的経費、すなわち臨時的経費か。

答 これまで答弁してきた通り、今日政策的判断で町が負担してきているので、政策的経費と考えて予算計上している。

一般会計予算案の討論

賛成討論(要旨)

小川不朽 議員

ひらふ坂ロードヒーティング電気料1040万円が予算計上されています。地方自治法第216条に、「歳出にあっては、その目的に従ってこれを款項に区分しなければならない」と規定しています。

観光客の安全性を重視した事業目的として支出するこの電気代は道路の維持管理費に該当しない、などと昨年指摘しました。

新年度予算案に、同じ区分に同額の予算が計上されています。「政策判断」のもと、「当分の間」とする町長の決断は当然重たいものです。

このたびの「需用費」からの支出を政策的経費、すなわち臨時的経費ととらえ、直ちに施策を講ずるよう期待を込め賛成とします。

反対討論(要旨)

原田芳男 議員

平成30年度予算案は、住民の暮らしを支えるという一番大事な目線に欠けた予算となっています。4月から総合保育所がスタートしますが、危惧される点が保護者から指摘されていますが、応えようとしていません。その1点目は、3歳以上の幼児を3こども園でしか受け入れないとしたことによる根本的解消にできていません。2つ目は、土曜保育が2つのこども園で実施されない問題です。3つ目は、統合保育所が3歳以上を受け入れないことによる送迎の大変さが解決されていないことです。

放課後児童クラブについても6年生まで受け入れると条例で決めておきながら全く解決する気持ちがなく、執行方針にも予算にも触れられていません。

住民アンケートなどをもとに予算要求しましたが、図書館の建設や福祉ハイヤーの所得制限の廃止、スクールバス路線の見直しなどに手をつけようとしません。

住民の暮らしと営業を守る立場での町政を強く求めます。